



防災情報レベル化の狙い

増え続ける“防災情報”

大雨警報・洪水警報	避難勧告
指定河川洪水予報	避難指示（緊急）
記録的短時間大雨情報（1984年～）	避難準備・高齢者等避難開始（2005年～）
土砂災害警戒情報（2005年～）	
土砂災害メッシュ情報（2006年～）	
特別警報（2013年～）	
洪水警報の危険度分布（2017年～）	

↓

レベル化のイメージ

5	5	5
4	4	4
3	3	3
2	2	2
1	1	1

規格（物差し）を統一

防災情報は大きな災害を経験するたびに増えてきました。

防災情報のレベル化

防災情報を整理・体系化する土台

情報を統合・廃止？
名称をシンプルに？
住民向け 行政向け？
さらに議論を！

防災情報をあらためて整理してわかりやすく体系化する「土台」を示した、という意味があります。

防災情報レベル化の内容

警戒 レベル	防災情報	住民の行動
5	災害の発生	命を守る最善の行動
4	避難勧告・指示	避難 速に 
3	避難準備の情報	高齢者など避難 
2	注意報	避難 備え確認 
1	数日以内に警戒級の可能性	心構え

警戒レベルの低い方から

- ▼レベル1は、数日以内に大雨が予想される時
- ▼レベル2は、注意の呼びかけ
- ▼レベル3は「避難準備の情報」で、高齢者などは避難を開始する
- ▼レベル4は「避難勧告」や「避難指示」で、速やかに避難所に移動する、直ちに命を守る行動をとる
- ▼レベル5は「災害の発生」で、命を守る最善の行動をする

中央防災会議の作業部会の報告

平成 30 年 7 月豪雨を踏まえた
水害・土砂災害からの避難のあり方について
(報 告)

平成 30 年 12 月
中央防災会議 防災対策実行会議
平成 30 年 7 月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関する
ワーキンググループ

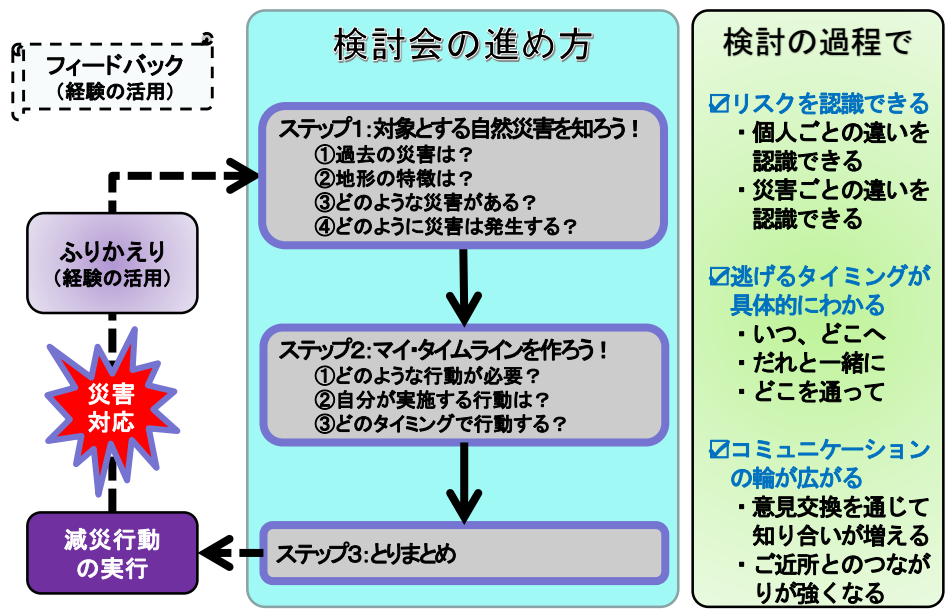
「行政は万能ではなく
ひとりひとりを
助けには行けない」

「皆さんの命は
自身で守ってください」

「行政も全力で
サポートします」

昨年相次いだ災害は、特に気象災害の激甚化がはっきり現われたものと言えます。もちろん防災情報の出し方、伝え方をはじめ行政側が取り組まなければならない課題はたくさんあります。一方、住民の側もメディアも気象災害のフェーズが一段あがったということを前提に、災害に向き合っていくことを求められています。

地区防災の取り組み方の手順



ステップ1：地形の特徴(地域の特性)

禎瑞地区の主な施設の標高(海拔)

No	施設名	標高 (海拔)m	備考
1	禎瑞公民館	1. 1 m	市指定避難場所
2	禎瑞小学校	0. 9 m	市指定避難場所
3	石井記念公園	0. 4 m	市指定避難場所
4	禎瑞分団詰所	0. 6 m	
5	禎瑞上集会所	0. 8 m	
6	禎瑞中集会所	0. 4 m	
7	禎瑞下集会所	3. 6 m	
8	八幡集会所	0. 4 m	
9	高丸集会所	0. 4 m	
10	難波集会所	3. 9 m	

No.4以降の標高は、国土地理院電子版より引用

ステップ1：災害の種類

災害種別	発生の状況(時系列)	西条市の発生確率	事前の防災行動 (早めの行動)	発災後の減災行動 (被害拡大防止)
台風起因の災害 (氾濫、土砂災害、高潮)	台風は、発生から被害が生じるまでに1週間から10日近くの前兆期間があるため、5日前程度から事前の防災行動を開始することができる。	高	◎	◎
前線性起因の災害 (氾濫、土砂災害)	前線性降雨は、気象庁から2日前程度には発表される気象情報をベースに事前の防災行動を開始することができる。	高	○	◎
局地的集中豪雨 (氾濫、土砂災害)	局地的集中豪雨は、最新の気象予測技術であっても行動猶予時間は、30分～60分しかないが、その時間を有効に活かすため自らの行動を素早く判断できるように事前に防災行動計画が必要である。	高	×～△	◎
発達性低気圧による雪害	気象庁から2日前程度には発表される防災情報をベースに事前の防災行動を開始することができる。	中	○	◎
火山噴火災害	国内の常時監視火山は、気象庁や研究機関の監視体制にあり、観測体制も整備されている。また、西条市への影響は、九州地区での噴火による火山灰のみに限定される。	低	△～◎	◎
津波災害	西条市の地域的特性から、最も近い南海トラフを発生源とする地震においても+1mの津波到達まで22分あり、十分に防災行動を開始することができる。	高	◎	◎
地震災害	地震予知は、困難である。ほとんど突発的に発生することから、防災行動はほぼ不可能である。ただし、予防的な取り組み及び減災行動(事後の対応行動)を予め整理しておくことは、重要である。	高	×	◎

自然災害の一例【風水害】加茂川・中山川洪水ハザードマップ



自然災害の一例【地震災害】南海トラフ地震想定

南海トラフ巨大地震の被害想定

被害想定

- ・震度分布、津波高、浸水域
 - ・震度7 151市町村 ・津波高10m以上 21市町村
- ・全壊棟数、死者・行方不明者数
 - ・238万6000棟 ・32万3000人
- ・ライフライン、インフラ被害
 - ・電力:停電件数 約2410万件～約2710万件
 - ・通信:不通回線数 約810万回線～約930万回線 等
- ・生活への影響
 - ・避難者数:約440万人～約950万人
 - ・食糧不足:約1400万食～約3200万食(3日間) 等
- ・経済被害
 - ・資産等の被害 169.5兆円 ・経済活動への影響 50.8兆円

自然災害の一例【地震災害】南海トラフ地震想定

南海トラフ巨大地震による西条市の
建物被害・人的被害の想定結果

愛媛県地震被害想定H25.12.26公表

② 人的被害 西条市人口：112,091人 ※H22国勢調査より 冬深夜、強風 単位：人

	建物倒壊	うち屋内収容物	土砂災害	津波	火災	合計
死者 (愛媛県)	826 (6,210)	47	1 (53)	2,592 (8,184)	230 (1,585)	3,648 (16,032)
負傷者	5,179	700	1	82	121	5,383
要救助者	2,373			49		
要搜索者				2,674		

※ 合計数値については、小数点以下の取扱(調整)により、値が合わない場合があります。

防災・減災の効果 （愛媛県地震被害想定調査結果から抜粋）

津波からの早期避難

1.3 津波からの早期避難率の向上（冬深夜）

本調査では、本県の過去の津波災害事例の少なさを考慮し、地震発生後すぐに避難する早期避難者の割合を 20%と設定している。県民の防災意識が向上し、早期避難者の割合が現状の 20%（想定）から 100%になった場合、津波による死者数は 8,184 人から 1,886 人に軽減され、約 9 分の 2 となる。

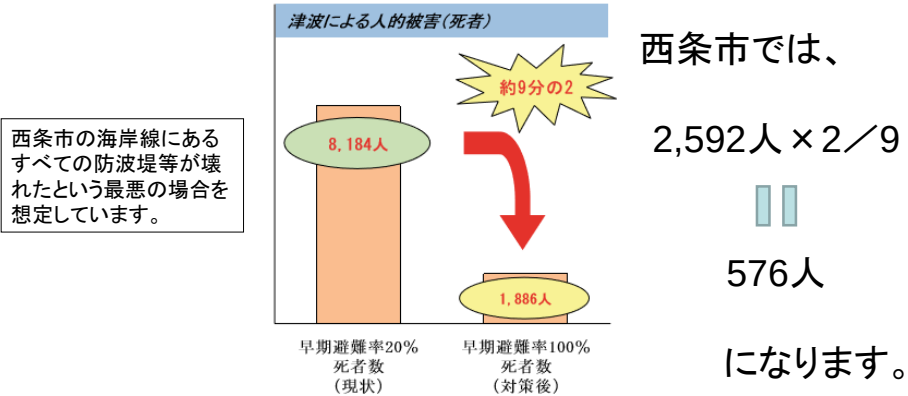


図 13-1-5 津波による人的被害

STEP2

マイ・タイムラインを作ろう！

逃げ遅れゼロを目指して
 地域防災力の向上



・マイ・タイムラインって何？

★災害にはさまざまな種類があります。タイムライン
 がもっとも有効なのは、事前に予測ができる大雨や
 台風などの風水害です。
 しかし、地震のような突然やってくる災害において
 も、「いつ」、「何を」、「どのように」行動する
 かを決めておくことは、とても重要です。

★避難のための行動を一人一人が事前に決めたものが、
 マイ・タイムラインです。

★一人一人、家族、自治会、地域で、それぞれ自分の
 役割を含めたマイ・タイムラインを作ってみましょう。



マイ・タイムラインの作り方

次の①～⑤の手順でマイタイムラインを完成させましょう！

手 順	要領等	必要な情報等
①避難する場所を考える。	★ハザードマップなどを確認しながら避難する場所を決めて、記入しましょう。 ※災害の種類によって、避難する場所が変わることがあるため注意が必要です。 ★浸水の深さから避難する場所を考える。 ※避難所へ、2・3階以上の建物へ、マンションの高層階の方は、自宅待機など ※自宅待機の場合でも長期間の電気等のライフライン途絶を考慮した備蓄や立退き（水平）避難の検討が必要です。	・ハザードマップ 
②避難情報や気象情報から避難のタイミングを考える。	★避難準備 避難の準備を始めるタイミング ★高齢者等避難開始 移動に時間がかかる方は早めの避難を始めるタイミング ★避難開始 遅くともこの時には避難するタイミング ★緊急避難 最悪の状況を想定して、浸水しない階へ避難などの行動を考える。	プッシュ型情報 ・防災行政無線 ・緊急エリアメール ・「西条市安全・安心情報お届けメール」 フル型情報 ・市ホームページ ・アプリ「防災情報さいじょう」
③避難準備の開始・避難開始・避難完了の時期を決定する。	★②で検討したタイミングを決定し、記入しましょう。	

手 順	要領等	必要な情報等
④避難開始までの行動を考える。	☆防災グッズ（持出用、備蓄用）の準備 ☆常備薬を用意 ☆災害時連絡先（親戚や自治会等）へ避難の時期、場所を通知 など ☆検討した結果を記入しましょう。 以上で、自らの身を守るタイムラインは完成しました。	左の要領で示したこと以外にも、自分自身が必要だと思うことをどんどん記入してみましょう
⑤地域に対しての行動を考える。	☆まずは自らの命を守ることが最優先です。そのうえで、地域の助け合い（共助）について考えてみましょう。 ☆例えば、 ・避難行動要支援者（手助けが必要な方）について、「だれが」、「いつ」、「どのように」を決めておく ・近所への呼びかけの要領 など ☆検討した結果を記入しましょう	話し合いの中で、地域での役割をはっきりできたり、いざという時においしいやくなるなどの効果があります。



避難することを一番に考えよう！
 水害から命を守るという観点から避難を選択することが大事です。
 過去の災害の経験から、地域のコミュニケーション力がとても重要です。

状 況	準備可能期間
☐ 台風のとき	3～5日
☐ 大雨が長くとき	2～3日
☐ ゲリラ豪雨のとき	2～3時間

マイ・タイムライン

名前

警戒レベル

1

2

3

4

5

避難情報

自主避難など
注意の呼びかけ
避難準備・
高齢者等避難開始
避難勧告
避難指示
(緊急)

☒ 大雨に関する気象情報
☐ 風に関する気象情報
☐ 高潮に関する気象情報
☐ 河川の氾濫に関する気象情報
☐ 土砂災害に関する気象情報

▼お住いの地域によって必要となる情報 必要な情報に○のチェックをいれよう！

☐ 大雨に関する気象情報

☐ 高潮に関する気象情報

☐ 河川の氾濫に関する気象情報

☐ 土砂災害に関する気象情報

大雨・洪水注意報

強風注意報

高潮注意報

氾濫注意水位

土砂災害警戒情報

大雨・洪水警報

暴風警報

高潮警報

氾濫危険水位

土砂災害警戒情報

行動

自分家族

避難する場所

自分家族

- 9 -

9

さいごに

今年度は、禎瑞小学校校区の防災訓練
があります。

より実践的で地域の特性に合わせ、みな
さんが、主体となった訓練を実施する予定
です。

よろしくお願いいたします。



自分たちの命は、自分たちで守る



**7月豪雨災害のとき、自分たちで作った地区防災
計画により難を逃れた大洲市三芳地区のように災
害に強い地区づくりをめざしましょう！**